

第2回まちづくり地区集会

2月23日（水・祝）、第2回地区集会を開催しました。

まちづくり協議会の令和2年度・3年度の活動報告を行い、

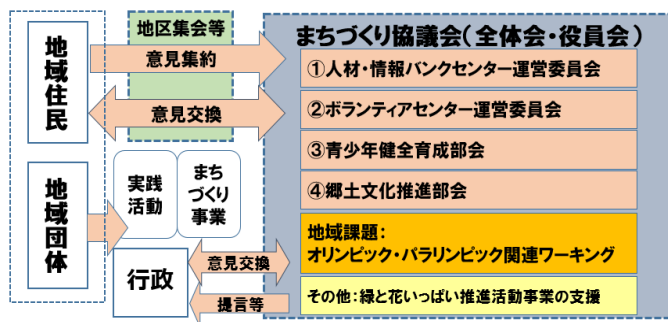
「地域の祭りの話を聞いて、片瀬・江の島地区の魅力をもっと知ろう！」をテーマに、講演を行いました。新型コロナウイルス感染症に対するまん延防止等重点措置の期間内での開催でしたが、会場16人、オンライン4人、合計20人の参加がありました。



第2回地区集会会場の様子

報告：まちづくり協議会 令和2年度、3年度の活動報告

片瀬・江の島まちづくり協議会の組織や運営、地区集会をはじめとした2年間の活動報告を行いました。また、部会活動報告では「人材・情報バンクセンター運営委員会」、「ボランティアセンター運営委員会」、「青少年健全育成部会」、「郷土文化推進部会」の各部長から、2年間の取組みや、コロナ禍における活動を通じて生じた新たな課題点などを報告しました。



※部会構成は2022年2月23日現在
片瀬・江の島まちづくり協議会運営体制のイメージ

質疑応答

片瀬・江の島まちづくり協議会の活動報告などについて、

Q「片瀬・江の島まちづくり協議会と市との関係は」

A「協議会の委員は市から委嘱を受け、地域課題など検討し、市と協働でまちづくりを行います」

Q「藤沢ファンクラブやSNSなどを活用し、まちづくりを推進する必要があるのではないか」

A「SNSなどの活用は喫緊の課題であり、積極的に情報発信に取り組んでいかなければならない」などの質問に回答しました。

講演：地域の祭りの話を聞いて、片瀬・江の島地区の魅力をもっと知ろう！

江の島・藤沢ガイドクラブで観光ガイドをしている片瀬地区在住の鈴木健之さんを講師に招き、片瀬・江の島地区の祭りの話を中心に、祭りや地域の魅力についてお話いただきました。

片瀬・江の島地区の伝統ある祭りは、コロナ禍の中、中止や規模縮小での開催となることで、地域で人が集う場所や機会が喪失されることが懸念されており、講演を通じて改めて地域の魅力に気づき、地域活性化につながることを願っています。



講師 鈴木 健之さん

地区集会終了後のアンケートで寄せられた感想や意見など（総数16人）

- ・ いままで知らなかった事業がいろいろ有り有意義でした。特にまちかど相談事業高齢者相談は（これから利用するかも？）心強い。
- ・ まちづくり協議会の各部会の活動が活発なことを知り、この地区に住めて嬉しく思います。今後は、私も、積極的に地域活動に参画したいです。
- ・ 第二部の鈴木氏の講話がとても良かったです。
- ・ 3年毎に防災に関する地区集会の開催（親子参加が良い）
- ・ まちづくり協議会という組織が、街のインフラ・ハード面ではなく、主に地区内への人的ソフト面活動という事が理解出来ました。今後の活動に期待致します。個人的に今後の活動への参加等の参考にさせていただきます。

令和3年度まちづくり地区集会 開催結果報告

第1回まちづくり地区集会

11月3日（水・祝）、片瀬市民センターにて令和3年度第1回地区集会を開催しました。今回の地区集会は「片瀬地区の防災を考える」をテーマに、片瀬地区に特化した視点で防災を考える次世代へつないでいくことを目的としました。

当日は、津波に関する映像上映後、お二人の講師に講演いただき、質疑応答を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見えない中、たくさんの方にご参加いただけるよう、初めての試みとしてオンラインでの参加も同時に行い、会場で31人、オンラインで11人合計42人の参加がありました。



第1回地区集会会場の様子

講演1：片瀬地区特有の地域の視点で防災を考える

東日本大震災の発災から10年が経過し、防災に対する興味関心が日々薄れてきていることから、講演を始める前に、神奈川県が作成したYoutube動画「災害 その時を生きるために 津波編」を上映し、津波の恐ろしさや津波が押し寄せてきた時の避難行動について、改めて共有を行いました。動画の上映が終了した後、一般財団法人アジア防災センター理事長で、辻堂地区自主防災協議会会長を務める小川雄二郎さんから、片瀬地区特有の地域の視点に立った防災のご講演をいただきました。

講演では、災害が発生するメカニズムや災害に関する様々なマップを基に、地区内の危険箇所や観光客への対応など、片瀬ならではの視点からわかりやすくご説明いただきました。また、まちづくり協議会として防災を地域課題として取り上げ、課題解決のために自助・共助を住民に呼びかけることで、防災に対する意識を高めるとともに、公助の視点から住民から出た意見を行政に投げかけていくことが必要であるとメッセージをいただきました。

協議会として、小川氏からのメッセージを受け、防災の意識を次世代へつないでいくことが、安心して暮らすことのできるまちづくりに繋がっていくものであり、日々、災害に対する意識を持ち続け、防災への取り組みを継続していくことが、これからの課題であると考えております。



津波動画上映の様子



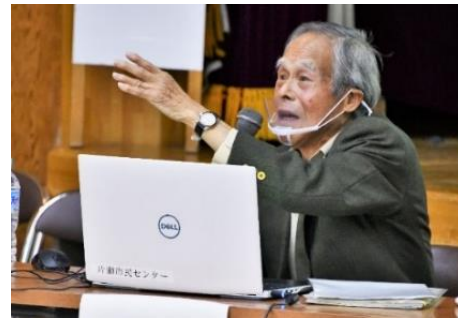
講師 小川 雄二郎さん



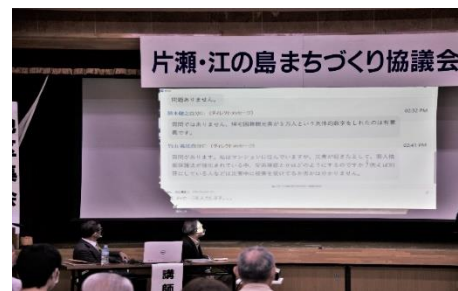
講演2:片瀬地区で起きた過去の災害について

片瀬地区自主防災協議会の会長を務める中島尚之さんからは、長年、片瀬地区に住む中で自身が体験した過去の様々な災害を紹介いただくとともに、災害の中で得た教訓などお話をいただき、災害が身近なものであることをご説明いただきました。

また、定期的に訓練を実施するなど、各自治町内会の防災に対する意識を高めるとともに組織強化を図ることが共助の観点から大切であるとのメッセージをいただきました。



中島 尚之さん



オンライン参加者の質疑応答の様子

質疑応答

会場、オンライン参加者（ZOOMのチャット機能を活用）から、講演に関する内容や地域の防災に関する意見などについて、
Q「防災の範囲はどこまでと捉えているのか。」

A「発災から復興までと捉えている。」

Q「マンションでの災害発生時の個人情報の取扱いや安否確認はどうしたらよいのか。」

A「自治町内会に加入していないマンションは管理が難しいことから、管理組合等で確認をするべき。」

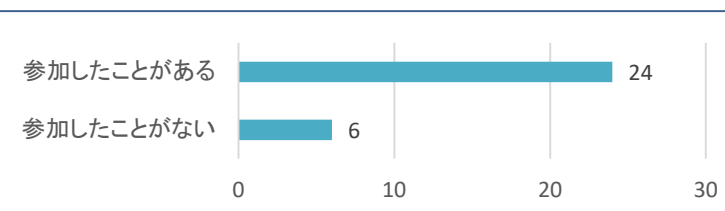
など、様々な質問に対し、講師から丁寧にお答えいただきました。

参加者アンケートの概要

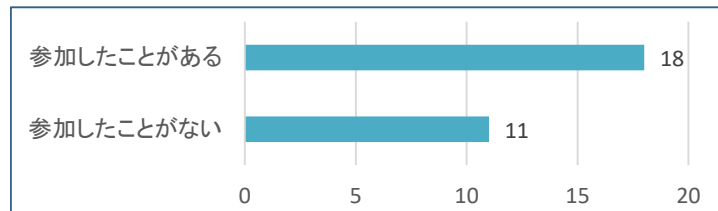
地区集会にご参加いただいた皆さまのアンケート結果を抜粋してご紹介します。

集会前アンケート(総数33人)

1 地区防災訓練に参加したことはありますか



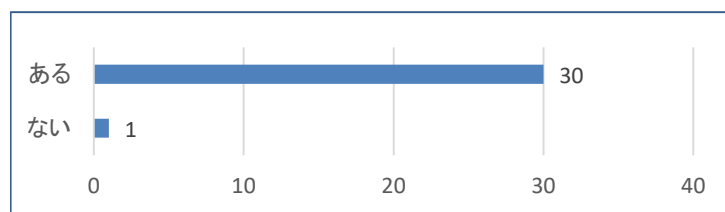
2 津波避難訓練に参加したことがありますか



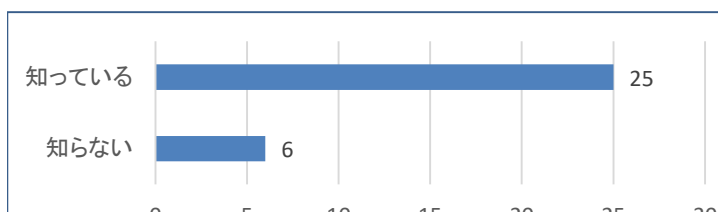
訓練に「参加したことがない」と回答した方は理由を教えてください

- 私以外の家族は仕事等で参加した事がない。
- 平日だったら可能です。
- 聞いたことがない
- 自宅が避難訓練場所より高い所にあるから。
- 今までは関心が低かった為 など

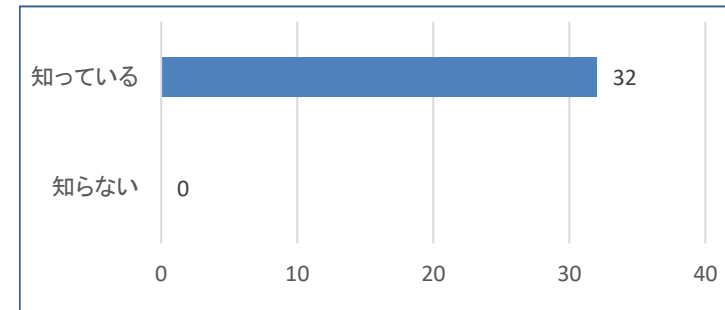
3 ハザードマップ（津波、土砂災害、洪水）を見たことはありますか？



4 「ふじさわ防災ナビ いま、わたしたちにできること」(小冊子)を知っていますか

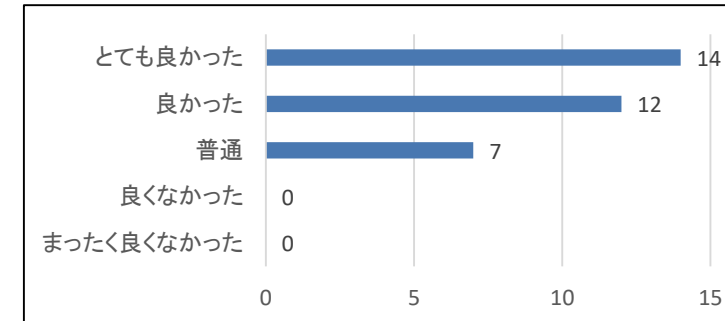


5 災害が発生したときに、避難する場所を知っていますか。

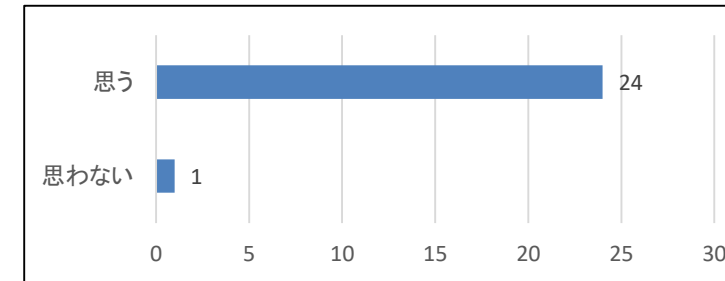


集会後アンケート(総数36人)

1 地区集会に参加してどうでしたか

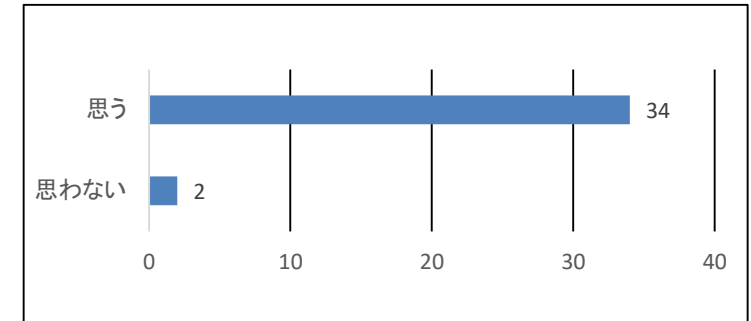


3 今後、津波避難訓練に参加しようと思いませんか

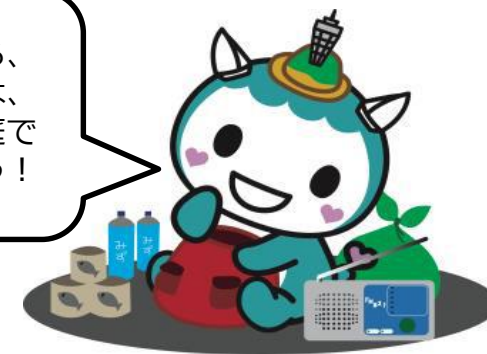


片瀬地区で発生した過去の災害被害の展示

2 今後、地区の防災訓練に参加しようと思いませんか



自助の観点から、食糧や飲料水は、一週間分各家庭で備蓄しましょう！



地区集会終了後のアンケートで寄せられた感想や意見など

- 津波ビデオが良かった。防災の大切さが重要。社会の強さが必要。
- ふたりの講師のはなしが役立った。
- これまで気付かなかった視点での捉え方…これはよかった。自助・共助・公助
- 災害時の観光客対応に関心がある。
- 災害の生々しい話と、神奈川県地震想定映像が実際の行動と結びつけられるか、自助、共助、公助の話など大変興味深く聞かせていただきました。
- もう一度地域の課題の整理の大切さを認識しました。まちづくり協議会の事案の報告がないのは残念でした。議題の整理を行なって事案につなげてほしい。期待しています。
- 地域のなやみは地域が一番よくわかる。今後みんなと相談して行政の策に加えていただこうと思いました。
- 個人でなく地区として行政に要望することが大切だと知りました。
- 次の世代につなぐためには毎年継続的に防災に関する訓練をする事。
- 避難行動の習慣化につなげる必要がある。
- 防災についての認識が一人一人異なっている中で、皆の意識をまとめていくような役割として、地区自主防協会の活動を期待しています。
- 片瀬山が住宅地になるとは子どもの頃（片瀬生まれ）、思ってもみませんでした。ゴルフ場になり、宅地になった為、かつて大雨の為、土砂災害（一人死亡）がありました。果たしてよかったですでしょうか。
- 課題は多数あるかと思いますが、講師の言う行政に対する要望の後ろ楯としての役割を期待しています。

★その他、様々な感想、ご意見を参加者からいただきました★